上士幌町役場庁舎等改修基本計画が

まとまりましたので、お知らせします

町では、老朽化や耐震性能の不足などの課題を抱える役場庁舎の整備に向け、議会での議論をはじめ、町民説明会やパブリックコメントなどを実施してきました。今回、これらの意見を踏まえて策定した「上士幌町役場庁舎等改修基本計画」の概要についてお知らせします。

現状と課題・庁舎改修の必要性

昭和56年に建設された現役場庁舎は、建設から41年が経過し、施設・設備の老朽化や耐震性に加え、防災拠点機能、ユニバーサルデザインへの対応など建物の性能や機能面で多くの課題を抱えています。

これらの課題を解決するため、「建て替え」ではなく「一部減築・一部新築」による改修を行い、町民の利便性や快適性の向上、効率的な行政運営などが図れる役場庁舎を目指し整備を進めます。

基本的な考え方

基本理念１　脱炭素社会に対応した、人と環境に優しい庁舎

- ゼロカーボン上士幌の実現とスマートタウン構築を目指して、「未来へつなぐ持続可能なまちづくり」のシンボルとなる庁舎
- すべての人が利用しやすいユニバーサルデザインの考え方が取り入れられた庁舎
- 先導的な役割を見据えて、費用対効果や減築・改修・建設後の維持管理を踏まえ、環境に配慮した庁舎

基本理念２　町民に親しまれ利用しやすい庁舎

- 町民がわかりやすく、快適に利用できる庁舎
- 町民が気軽に立ち寄ることができ、お互いに触れ合うことのできる親しまれる庁舎

基本理念３　町民の安全安心を守る災害に強い庁舎

- 耐震性の高い安全な建物として、災害対策本部としての機能を十分発揮できる庁舎
- 地震・浸水などの災害があっても町役場機能が維持できる庁舎

基本理念４　効率的な行政サービスが可能な庁舎

- 経済性（無駄がなく華美にわたらない庁舎）と機能性を併せ持ち、デジタル社会に対応した効率的でコンパクト、オープンな執務空間

基本理念５　町民の声が集約される議会機能を確保した庁舎

- 議会機能の適正な規模を確保し、議会休会中の有効活用が図れるよう配慮した庁舎

基本理念６　町民協働・町民活動に配慮した庁舎

- 多目的なホールや、町民とのコミュニケーションや協働を推進できるスペースをもつ庁舎

求められる機能

窓口機能

町民の利用頻度が高い「窓口機能」をできる限り集約し、関連部署を近接させるなど、来庁者の利便性が高い窓口配置とします。臨時的かつ一時的に集中して受付を行う手続きなどでは、臨時窓口スペースが確保できるよう検討します。

町民交流機能

町民に親しまれ、憩いの場となる庁舎を目指し、来庁者が利用できるスペースを設けます。

防災拠点機能

役場庁舎は平素における各種防災対策活動、災害発生時の危機管理の拠点です。災害対策本部としての機能を十分に発揮できるよう、迅速な災害対応および復旧作業を進める防災拠点としての機能強化を図り、町民の安全と安心や行政機能の継続性を確保するための防災機能を整備します。

ユニバーサルデザイン

年齢や障がいの有無・性別・国籍・言語などにかかわらず、来庁者の誰もが安全で快適に利用できる庁舎とします。

創エネルギー・省エネルギー等機能

化石燃料から再生可能エネルギーへの転換を図り、ZEB※化を進め、国が推進する環境配慮型官庁施設（グリーン庁舎）の実現を目指します。また、再生可能エネルギーの活用や省エネルギー化の推進などの検討にあたり、費用対効果を比較検証しながら、本町に適した手法を導入します。

※ZEB（ゼブ）：ネット・ゼロ・エネルギー・ビルの略。エネルギーの生成と消費の収支がプラスマイナスゼロになる建物のこと。

議会施設としての機能

議決機関としての独立性を確保するとともに、町民に開かれた施設となるよう、議場や委員会室などを適切に配置します。

既存役場庁舎棟改修の考え方

平面レイアウトの考え方

町民の利用頻度が高い「窓口機能」を1階に集約し、中央公園に面した部分を来客者動線とすることで、中央公園に開かれたオープンな庁舎とします。

2階部分は新棟の機能との関係性を重視するとともに、災害対策本部への対応が可能な会議室の設置を行います。

耐震補強の考え方

- 既存役場庁舎棟の3階以上の減築、既存2階床一部も減築し、建物重量を減らすことで、耐震補強の軽減を図ります。
- 道産材を使用した木製の耐震ブレースを内部に設置します。
- 目に触れない部分については、RC耐震壁の併用もコスト、工期の優位性を見定めて決定します。
- 必要箇所に耐震スリットを設けます。

概算事業費と財源

概算事業費

- 改修工事費 …… 22億190万円

※基本設計、実施設計で修正されます。

財源

- 補　助　金 …… 6億8,000万円
- 起　　債 …… 3億6,660万円
- 一般財源等 …… 11億5,530万円

（町の実質負担額　12億6,528万円）

※起債の交付税措置対象外である町費負担分（30%）を換算した金額

建設スケジュール

令和5年度に基本設計、令和6年度以降に実施設計を行い、令和8年度の供用開始を目指します。

【ご注意】

誌面の都合上、詳細は割愛しております。上士幌町役場庁舎等改修基本計画の本編は役場2階総務課で公開しておりますので、詳細やお問い合わせは総務課庶務担当（☎2- 2111）までご連絡ください。